

発言No. 4

受付No. 6

平成 26年 8月 25日  
15時 52分 受付

発 言 通 告 書		
議席番号 <u>24</u> 番 氏名 <u>牛 久 昭</u>		
発言の種別	質疑 <u>個人一般質問</u>	緊急問題
答弁を求める者	<u>市長</u> <u>教育委員会委員長</u>	監査委員
(該当を○で囲む)	選挙管理委員会委員長	農業委員会会長
	固定資産評価審査委員会委員長	公平委員会委員長
項目番号	発 言 項 目 及 び 要 旨	

### 1. 浜田道料金変更後の地元経済への影響と対策について

- (1) 浜田道沿線同盟会解散について
- (2) 周辺観光施設への影響について
- (3) 特区構想について

### 2. 教育環境の将来展望について

- (1) 統合新園について
- (2) 美川地区における幼・小・中一体型校舎について
- (3) 中国との児童交流について

### 3. ほねお魚センターについて

- (1) 現状認識と課題把握について
- (2) 今後の活性化策について

## 1. 浜田道料金変更後の地元経済への影響と対策について

### (1) 浜田道沿線同盟会解散について

先般、同盟会は一定の役割を終えて解散と報道されたが、料金変更や消費税導入で交通量が落ちている。今後の対策が必要と思うが解散は少し早すぎはしないか見解を問う。

### (2) 周辺観光施設への影響について

観光施設や会議所会員から、入り込み客が激減したと悲鳴が聞こえるが主な施設への影響を問う。

### (3) 特区構想について

先般の国政報告会で、地元国会議員に料金対策を要望したが、そのおり、自民党で特区による救済策を検討と答弁があったが、市長の姿勢を問う。

## 2. 教育環境の将来展望について

### (1) 統合新園について

原井幼稚園と石見幼稚園の統合新園について、設置場所も含めてそろそろ方針決定が必要と思うが見解を問う。

### (2) 美川地区における幼・小・中一体型校舎について

① 国府小学校が来年春開校し、28年春には、旭統合小も開校する。次の改築校は、決まっていないが老朽化からいけば、美川小、第四中学校だと推察する。文科省の58年ぶりの指針見直しにより、小中学校の統廃合が促進すると思うが、この際、美川地区の特性を踏まえ幼・小・中一体型校舎の建設が望ましいと思うが見解を問う。

② 次に児童数が減ると部活動に支障が出て、そのために、越境入学が増えると聞く。2016年の小中一貫校制度化提言を受け、9年間を〔5.4〕制度などを導入し美川モデルを実現してはどうか問う。

### (3) 中国との児童交流について

石景山区との児童交流も2011年を最後に途絶えています。先般の教育委員会の報告にも、連絡が取れないので中止とありました。この事業のそもそものきっかけは、当時、北京市訪問のおり、戦後の21世紀日中交流委員会の当時の代表〔張香山〕氏の提言を受け、現・広西省書記〔強衛〕氏の後押しもあり実現した事業であります。目的は、日中の将来のために児童相互交流を始めようということでした。今日のような、日中関係が冷えているときこそ続けるべきと思いますが見解を問う。

## 3. しほねお魚センターについて

### (1) 現状認識と課題把握について

開業から20年以上が経過し、施設に一步足を踏み入れた段階で、その閑散が肌で感じられ非常に辛くなりたまりません。現状認識と課題把握について見解を問う。

### (2) 今後の活性化策について

過去、幾度となく提案、提言をしていますが、活性化策を問う。